年次大会に参加して

向井 淳彦*

シニアの目の一人として参加させて頂きました。プラスチック業界で長く生きて来ましたコンサルタントとしての夢は、日本が世界で初めて開発した高機能樹脂・高耐熱性樹脂等を使い、日本が世界を先導している産業向けの成形品を作るために、日本が独自に開発出来た成形加工技術を活用している姿を見ることです。この様な夢の視点を持って年次大会に参加し、全体として活発な印象があります今回の諸講演を拝聴させて頂きました。新樹脂と言う点ではやはりセルロースナノファイバー関連のものが、着々と進展していることに注目しました。しかし、新規な日本独自の成形加工技術、最近の例で言えば、RP 東プラ(株)が独自に開発した射出成形による3次元曲管の成形法の様な新しい発表は余り見受けられず、少し残念でした。また、私が拝聴出来ました20件の講演の中では次のものが興味深いものでした。

- ①大日本印刷による「微細加工技術の細胞培養基材への応用」 今後が期待されるメディカル分野での一つの狙い目と思いました。
- ②富士フィルムによる「自己組織化を利用したハニカム状

高分子フィルムの生産技術とその応用」 如何にも多くの成膜技術を有します富士フィルムならではの技術と思われ、今後に大いに期待したいと思いました。これは日本独自の新規な成形法の一つと言えるのではと思いました。今後に大いに期待したいものです。

- ③元日産自動車の大庭敏之さんによる「次世代自動車に求められる高分子材料」 LCAの観点から見たEV,FCVへの見解、高熱伝導・絶縁材料の進歩への期待など、含蓄のある内容でした。
- ④京都大学の矢野先生のグループ等による「セルロースナノファイバー(CNF)関連」の発表 色々な形で着々と進展していることが理解出来ました。未だ簡単にはCFを置き換える形になるとは思えませんが、将来性には期待が持てる気がして来ています。
- ⑤セイロジャパンの大嶋秀幸氏による「新技術を事業化するための戦略シナリオ理論と実践」 本会の様な集まりでも、この種の有益な話が聞けることに感心しました。
- ⑥ダイセル・エボニックの六田充輝氏による「最新のエンジニアリングプラスチック系複合材料の事例とその可能性」 ナイロンの紛体塗装をした金属シャフトにGFPA 6によるオーバーモールドをしたものが欧州の大手自動車メーカーでクロスカービームとして採用されたと言った多くの事例が説明され興味深いものでした。

* Mukai, Atsuhiko
向井プラスチックコンサルタント事務所
(元テijin・アモコ・エンジニアリング・プラスチックス(株)社長)
相模原市南区南台3丁目9-28 (〒252-0314)

頭をリフレッシュ

下 間 昌*

プラスチック成形加工学会は設立以来の会員である。5年前に会社を退職したが、プラスチック関連の仕事は少し続けていて、この学会の年次大会には退職後も毎年参加している。この大会に参加する楽しみはいくつかある。古くからの知人と顔を合わせて久闊を暖め、相互に情報を交換し、日頃気になっていることの意見交換をする場所である。また講演の聴講や研究発表、ポスター会場での若い発表者との議論などつい時を忘れることもある。頭をリフレッシュする機会になっている。

言語に関心をもっていて、翻訳についても関心がある。最近、プラスチックに関連する用語で横文字を単に片仮名にして使われる事が多いようだ。かつて先人の努力によって西欧の科学や技術の用語が日本語に訳され、今日その恩恵に与っているが、近頃は用語翻訳の努力が十分でないように思える。そのような例の1つに「アディティブ・マニファクチュアリング」がある。懇親会である先生にこの事を話したら、その先生はたまたま「成形加工」誌の編集委

員で、編集会議でも話題になったとのことであった。いろいろな翻訳案が出たが、ぴったりと思える語彙が見つからず、「アディティブ・マニファクチュアリング」のまま掲載したとのことで、逆に適切な翻訳案があったら提案してほしいと言われた。ここでは具体的な翻訳案は議論しないが、やはり編集会議のような場では、議論されていたのであった。用語が気になっていたのは、筆者だけではないことに少し安心感があったが、結果が出ていないので、問題解決には至っていない。今日の日本語の重要な語彙になっている「科学」や「社会」なども、西欧の言語から日本語に翻訳されたとき、すんなりとこの語彙に落ち着いたわけではなく、落ち着くまでに紆余曲折があったようである。プラスチック技術用語の翻訳もいろいろ試みて、議論して見つけて行く必要がありそうである。昨今は「公約」や「情報伝達」よりも「マニフェスト」や「コミュニケーション」が好んで使われていて、敢えて翻訳する必要がないのかも知れないが、また用語より内容が重要であると言われるかも知れないが、概念の形成や情報の流通、議論などの前提として言葉も大事であると思う。

* Shimotsuma, Sakae
コンサルタント
厚木市戸室1-15-5 (〒243-0031)